二十五日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月金六十錢　□郵税金十五錢　□一部賣金三錢
□廣告料一行金六十錢　□雜報欄金九十錢　□場所指定一行金一圓增
□電話(平)七八六番　□振替口座仙台一〇八五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所　磐城毎日新聞社
發行兼編輯兼印刷人　岡田弘成

藥殺

若野章

〔二〕

「はあ、燕麥と麩と牧草と何時もの通りだつたんですが食慾大分水を欲しがつてました。何でも十一時頃でしたらうあんまり厩舎が騒々しいもんですから起きてみると此奴が方々に振り付き乍らひどく苦しんでるんで何氣なし腹へ手をやつてみたら熱があるんではつとしたんです、明日の五レースへ使ふ譯だつたんですがね」

「此の馬はムーンライトだね。一敗落したわけだな」

「全く明日の確實な一敗を逃がしてしまひました。先生(調教師)も旦那(馬主)もまだ知らないんですが……」

「うん、ぢや先生と旦那に早く知らした方が良いかも知れないよ、普通の疝痛ならよいが……」

馬丁は睡氣を失つてしまつた眼をぢつと血だらけになつた馬の顔にさもたまらないと言つた思ひで注ぎかけ、正夫は注射筒から筋肉へと移つて行く藥液をぢつと瞶めてゐた。直ぐ前の厩舎から羽目板を蹴りつける音がゴトゴトし、正夫はその跡で自分が思ひきり蹴りつけられるやうな思ひに捕はれ、此の馬の物も言得ぬ苦痛に何か熱くやるやうな憐れがおんと身に泌みて來るのだつた。小使が馬穴の中にクレゾールをゴボンゴボンとあけ乍ら、寒さうな聲で何か言つてゐたが、正夫も馬丁も押し迫られた、苦痛の生命の前に立つて、それが何を喋べつてゐるのかさへ判斷出來なかつた。

馬は間歇的に、それは満身の力をこめてある何ものかを投げ出すやうに体全体を狂暴なまでに動したり…た眼瞼が切れて血が滴つてゐた。正夫は酒精綿でその血を時々拭きとつてやつた。

正夫は何かしら大きな或る一つの事に眞向て、体ごと打つつかつて來られるやうな、併しそれは逃げられない、むしろ宿命的な弱さだと諦めるやうなものゝ胸一杯になつた。今自分は此の生命への大事を成し遂げるそれは他のものと、自分への生命への敢然とした挑戰のやうであり、その實救はれ難い暗澹とした無力さの思ひでもあつた。苦しんでゐる、そのそれ自体が今自分の眼前に大きな事實を見せてゐる。……此の事實に直面して、だが私は一体、何をなし遂げ得るだらうか。

遠山に羊が見ゐるといふので

杉山一郎

カタコトと助骨を
登ると
地平に乳房が白いので
あなたと間違ふのです。
言葉に注意てなくちやい
けません
青空の間のまらうど達
詩作に夢中なので
羊だと言ひ張るのです。
屋上では水道が出ないの
で
珈琲はだしませんが
鬼あざみ
おかあさまと呼んでも
山彦も聞ねないのです。

11月26日

△軍需疑獄の柱木前造兵廠監官起訴さる(昭和十二)△上海海關事實上我が監督下に入る(昭和十二)

〇

感謝して受くる者は豊かな收穫がある
ブレーク

連續講談 [65]

異説赤穗浪士

別題『異説赤穗義士』『赤穗誠忠録』

桃川若燕
畫　城木喬

第一の仇討

その内に氣合が滿ちたか

『エイッ』

氣合と共に安兵衛が斬り込んだ、彌三右衛門これを見ると、

『総山氏、安兵衛なか/\味を遣り居る、御油斷あるな』

『心得申した』

と一刀の鞘を拂つて左右から安兵衛臨んで取詰めた安兵衛も相手が三人となつては油斷は出來ない。

『エイッ』

大喝、身を躍らせると眞向から斬り下した。心得たりと金三郎、ガッチリ受け止めたが斬り込みが早いので鋩子で小鬢を三寸ばかりやられて。

『アッ……』

と蹌踉く。これを見るより彌三右衛門に半太夫は左右から激しく斬り込む、チヤリン/\と右左からの打ち込みを受け流し/\してゐる安兵衛、一方金三郎は素早く身を退くと紙を以て傷口を押へ、布を持つて確平と結はへると、安兵衛の隙を覗つて背後へ廻つた。と此の様子を離れて見てゐたお桃が安兵衛の大事と

『若様御油斷遊ばすな、背後へ廻りました……』

と聲をかけた。氣付いた安兵衛が心得たりと一躍後へ退る途端、金三郎が、

『エイッ』

斬つて掛る、ヒラリ体をかはして、掻ひくゞり上段下段と打ち合つてゐたが、何と云つても三人に一人、次第々々に太刀先も亂れて來る。見てゐるお桃は氣が氣でない。

『ア、どうしたらよいだらう、此の様子では安兵衛様のお身の上が危い』

と思ふと居ても立つても居られない、その内に焦らつて斬り込んだ金三郎の尖先をかはし兼ねてゐるのを見たお桃は、足元の小石を拾つてピユーッと金三郎目蒐けて投げつけた。その石が金三郎の眞眉間に當つた。

『アッ……』

すかさず安兵衛は大喝一聲右の肩口から乳の下かけて斬り下げた血煙立つて金三郎はそれへ倒れる伜の討たれるのを見ると彌三右衛門必死に斬り込んで來る、又もお桃が投げつけた小石が、彌三右衛門の右腕に當つたから、

『アッ』

刀をポロリ落し。途端に躍り込んだ安兵衛が眞向から唐竹割、返す刀で半太夫へ浴せかけやうとすると半太夫卑怯にも刀を投り出してドン/\逃げてしまふ。ホッと一息吐いた安兵衛は一刀の血振ひをして西邊を窺ふとそこへ駈けつけたお桃、

『若様、首尾よく御本懐をお遂げ遊ばし、さぞお嬉しうございませう』

『オ、桃か、其方の骨折りに依つて、父上の仇三人に存分の報ひを致した。忝ないぞ』

と云ひつゝ死体の傍に近寄つた安兵衛は、

『如何に梶田彌二右衛門よく承はれ、よくも罪なき父上を虎穴に陷れた爲め、怨み知つたか―

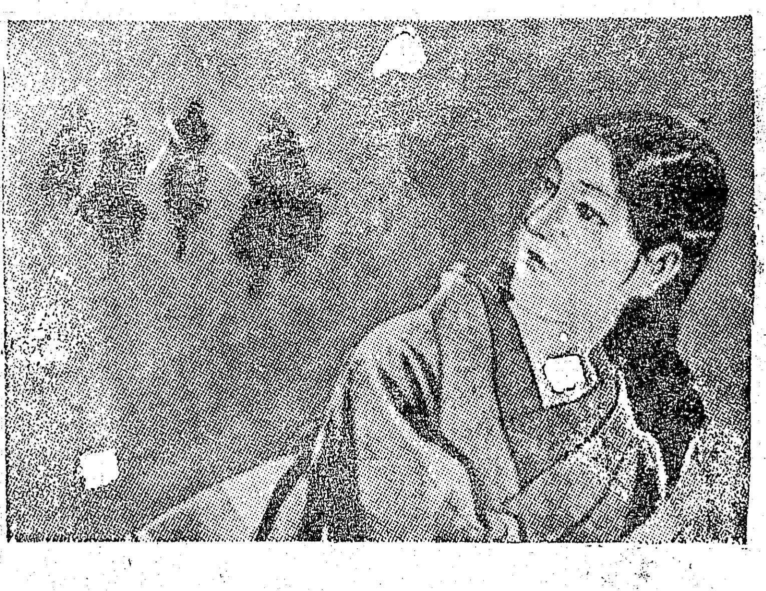
とゞめの刀、梶田親子の咽喉へ加へ首を打ち落し懷中から取り出した父中山主膳の位牌を辻堂の椽際に並べて、二つの首を供へ

『南無頓生菩提。南無阿彌陀佛々々父上の尊靈願はくば安兵衛の供へました梶田親子の首を御覧になつて修羅の妄執をお晴らし下さいませう』

お桃も兩掌を合せ、

『南無阿彌陀佛々々』

と菩提を弔つた。



耳鼻咽喉科
醫學博士　増田　之
増田醫院
◎入院應需　平市紺屋町(電六五一)

おでん
たつた揚
やきとり
一平

ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下　電六七四

酒トマツイ
おでんの
榮ちやん
平市田町花ノ園
電話三三番

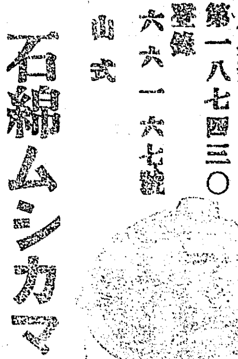
おでんと
ヤキトリ
田町末廣トナリ
一柳

國民服 (高) と軍服
高島屋の洋服
御注文並に既製品
平市二丁目通
電話三六八番

登録商標
家傳良藥　ゆでくすり
ムテキ
一袋三十錢　二袋五十錢　五袋一圓
切斷洗滌等ノ苦痛ナク快癒スル理想的家庭療法藥ナリ
主治効能
ゆびはれ、きゝきず、りんびやう、はいどく、やけど、ちゝはれ、くさかさ
○毒ウミヲ吸出ス事ナリ
○凡そ膿を持つ疾患にお悩みの方に御試し下さい
製劑本舖　宮城縣　ムテキ商會
平市古鍛治町十番地(縣社下)
代理店　阿康藥局
電話四十四番
振替東京三〇〇六五番
各有名藥店ニアリ

醫學士　吉田久雄
吉田眼科醫院
平市紺屋町　電話六八番

看護婦
見習看護婦　募集
經驗の有無を問はず優遇
高柳醫院
平驛前電話三三六



實用新案登録第一八七四三〇號
意匠登録第六六一六七號
石山式
石綿ムシカマド
こんな經濟的な『かまど』は他にありません
安價な燃料で濟み、保温力が強く堅牢で火の元絶對安全!御使用に御便利な!石綿製のムシカマド、近代生活のお台所に是非、おすゝめ致したい新製品で御座います。
金物問屋
和洋銅物
(久)釜屋商店
平市五丁目

ホシ
ミクローゼ
酵母劑の上を行く…綜合ビルツ劑
健康をつくるにも
病氣を治すにも
便秘の害を先づ除け!
便秘ほど怖しいものはありません。逆上、メマヒ、息切れ、吹出物、頭痛、倦怠[illegible]、遂には致命的な高血壓をさへ誘發します。しかし、便秘をコソクな對症劑で治さうとするのはこの上もない危險です。連用は習慣を生み、腸の働きをバカにして了ひます。
ミクローゼはビルツ(有効菌)の醱生する各種消化酵素とビタミンBの力によつて、腸の弱力を省き、蠕動力を高め無理のない自然な便通をもたらすのであります。
株式會社 [illegible]
—試藥無代進呈—
便通　食慾　榮養
一ケ月分三六〇錠　一圓五〇錢

胃・腸強生
働能
MICROSE
ミクローゼ

平警防團の秋期檢閲

一點打の警鐘で團員參集

二十四日 平商校庭で執行

平警防團の秋期檢閲は曇り勝ちな二十四日午前八時半から平商業學校々庭で執行した、この日午前六時一點打の警鐘で全市民を緊重させ關內團長以下三百七十餘名の團員が午前八時本部前に集合、整列して平商校庭へ行進、午前中熱心に各個訓練を受け、午後一時檢閲官渡邊警察署長臨席宮城遙拜、默禱の後關內團長令旨捧讀、次いで姿勢服裝の點檢、規律訓練、機械器具の點檢等型の如く檢閲を終へ、平市警防團並に家庭防空群、個人等縣知事よりの表彰狀を署長より傳達、次いで渡邊署長檢閲官として講評、青沼市長、蓮沼縣議來賓を代表祝辭を述べ受賞者一同を代表して大谷市議答禮、關內團長の答辭があつて步武堂々檢閲官に對する全團員の分列式を行ない暮色迫る頃式を終へた

教練操作は最優秀 「出席率惡し」

渡邊檢閲官の講評

本日茲に平警防團の秋期檢閲を執行、警防上の諸般について檢閲し、功勞顯著なる團体及個人に對する表彰の傳達をするに至つたことを喜ぶものである、檢閲執行の意義は團員の体力と規律統制ある團体操作を訓練するにあることは申すまでもないのでありますが警防團は防空水火災の豫防に努め義勇仁俠の精神にあることは申すまでもないのでありますが、從來やゝもすれば檢エツを一日の遊びの如く心得違ひしてあるもの〻多かつたことは遺憾である、警防團の檢エツは警防團の最上の儀式であつて最も意義あらしむるの必要があるのである、本日の檢エツを評するに第一本日の檢エツ出場成績が團員六百九十七名に對し三百七十九名の出場者より無く定員の割合に出場者の尠なかつたのは遺憾である不參者の內には出征中の者事故に依るもの等相當理由あるものと認め秋季は殊に農繁期に當り生產擴充方面から犧牲を拂つて出場出來なかつたもの〻多かつたことも認めるが出場者半數に過ぎなかつた點は優秀な成績と云はれず警防精神から遺憾の點がある、第二、服裝の點は最も優秀である、正規の服裝は方面の熱心なる協力に依つて整つたもので、この點有志各位に感謝する、第三、教練は縣の表彰を受けて居る程で確かに縣下最優秀なものと思ふ、表面的のみでなく各自眞劍味が溢れてゐて非常に宜しかつた專門的な軍隊と違つて年齡も、職業も違ふものが混然と集つての團体動作でもるに拘らず何れも眞劍に整体と團体的行動、少しの亂れも見られなかつた、第四、禮式は精神の形である最も嚴肅に行ふべき團体は禮儀を正しくせざれば統制が困難であり、禮は精神の發露である、團員としては立派な禮式が出來たと思ふ、未だ他の檢エツは一ケ所より行つてゐない爲比較することは出來ないが恐らく第一と斷言する、禮式ばかりでなく教練其の他凡てこれでよいと云ふ程度はない、今日の檢エツが良かつたことに心をゆるめず一層練磨研究されんことを希ふ次第である、警防團は人的と物的兩面を整備せざれば充分なる機能は發揮出來ないのである人的方面は消防時代と違ひ一人々々選衡賞罰も明かに成つた、物的方面でも自動車ポンプ六台整備を見るに至つた、最近當市當局と有志の盡力に依つて二台新調、機械器具の整備は恐らく縣下第一であり市の爲國家的にも喜ぶべきである、今期の檢エツは成績は管內隨一と斷言するが故斷なく一層練磨して二次の査エツに備へられんことを切望する次第である、

團の名譽のため◎◎◎◎ 優勝旗を護れ

關內團長全員を激勵

檢閲終了後關內團長は團員一同に對し渡邊署長の講評を反復し

教練並に機械器具の操作其他の點は自分も縣下第一を信ずるものである、然し出席者が僅か半數に過ぎなかつたのは遺憾に堪えない、近く第二次檢閲が行はれるが若しこの檢閲で成績不良の場合二年前に獲得した優勝旗は使用を禁止されるのである、團の名譽にかけて必ず優勝旗を保持する樣各分團長、各班長が其所屬團員を督勵鞭達して出席率の向上を圖られんことを切望する、自分は公務に依り明日より來月五日頃まで歸ることが出來ずこの間行なはれる防空演習に出られないのは殘念であるが各位が克く協力して遺憾なきを期せられたい

と全團員を激勵する處あり防空演習に關する注意などあつて暮色に包まれる頃解散した

苦辛の結晶

熱血を注ぐ四十餘年 鮫川疏水の完成 （下）

◇表彰された古川傳一氏の治績◇

昭和八年工事着手に方り組合負擔拾參萬余圓は從來の負擔に加重著しく組合の最も困難とする處なるを以て縣當局に對し工事の全部を組合請負とし灌漑民自ら土工に從事し負擔の輕減に資する處あらしめんことを請願の結果、其許可を得茲に事實上組合自ら工事全部の施工に當り、而して古川傳一自ら組合常設委員として全責任を荷ふに至る、

昭和七年四月起工式を擧げ着々之が進涉に努力せしも組合從來の窮狀困憊物價の漸騰、幾度かの災害等相次で難關に遭遇し、加ふるに當時米價維持對策として過剩米對策、或は農村恐慌對策上水路復活の如き米增產策を不必要とする向に傾はされ工事に容易に進涉を見ず殊に事變の勃發と共に極度の物資制限により工事資材の欠亡を告げ一時殆ど工事休止のやむなきに至りたるも辛じて供給を仰ぎ百方督勵日夜寢食を忘れて只管竣功に努力したる結果昭和十四年五月前後六ケ年余にして幹線延長五里半、各支線延長四里に亘る水路は全部完成を告げるに至る、

明治三十一年本事業計畫により四十余年事業復活を叫びてより十七年にして遂に其の難業を完成し其目的貫徹するに至る、實に二町四ケ村の農民は皷腹の喜びを以て農耕に安んじ脈々として血の通ひるが如く潑溂として蘇生するを得たるが爲めに昭和十四年、十五年度の大旱魃に處し七百町步の水田灌漑に何等の支障なく其余力は更に區域外をも灌し惠澤汎く九百余町步に及び不斷穰々たり、

之により米增產步合正に二割五分其增產石數五千四百石に及び二毛作の發展增產、勞力の經濟化等久遠の福祉增進の大業、國家產業の強化にして生產擴充、食糧問題解決上重大努績たるを失はず(完)

小名濱漁業關係 組合合同機熟す

新体制に則る小名濱海產食料加工組合、同海產物卸商業組合。同鮮魚商組合の合同問題はいよ〳〵機を熟し鮮魚商組合側では今度委員六名を擧げ本年中に實現すべく努力されてゐるが理事長には現漁業組合長水野政治郎氏、事務理事に小島源七氏など呼聲が高い

日本商業再編成のため 廿二條の「指導原理」 （四）

日本商報隊委員長 岡田徹

十一、商業者が農工生產者との關係に於て血緣共同體的機構を確立するためには前提として既存の產業組合工業組合並に商業組合を（或はその本質的な階級的營利性格を）解消すべきである、吾々は產業別に兩部門を結合したところの縱の經濟的協同體系を組織すべきことを主張する、その組織に於て生產者は配給計畫に從つて生產を擔當し、配給者の總意を上達して生產計畫に參劃する、

十二、商業者が消費組合的實體を整備するためには店舖の計畫的地域別再配置を行ひ、且つ經理公則を確立することが必要である、その資本は生產者との共同資本の形をとり、卸賣業者の高利貸資本の搾取から小賣業者の正當なる職能を保護すべきである、國家は職場並に地域消費組合を解消せしめ、同時に物品販賣業國家管理法（假稱）を制定して配給擔當者と消費者とを實質的に同體化せしむべきである、

十三、吾々は卸賣業者に對し現在のところ上部配給機關としての承認を留保すべきであると信ずる、過去に於て卸者の强大な商業資本の利潤追求性と營利的運營とは屢々中小小賣業者の正當なる利潤をすら奪ひ去つたことは否定し得ない、統制經濟下に於ける物資の偏在と闇値の出現とはこれら上部機關が小賣業者のためには寧ろ有害であることを曝露したものに外ならない、從つて吾々はこの上部機關の營利性格を排擊することが吾々の正當なる義務であると主張する、

縣の表彰

警防團及び防空群個人

平警防團の秋期檢閲に際し縣から表彰されたもの左の如く個人表彰の熱田氏は團最高齡者でありながら結成以來一日の欠席もなく所屬救護部にあつて活動されてゐる熱心家であり生田目、馬目兩女は訓練中負傷しながら身の危險を冒して防空防火に努めた熱心家である

平警防團、片倉製絲自衛團

平市第四區家庭防空群、同大町第二十群、同四丁目第二群、同第四群、同南町第十七群、平警防團後援會副會長大谷武雄氏、馬目ヨシさん、生田目ツネさん、

近く町會で正式に決定を見る

四倉國婦鎭守社に梅を植ゐる

四倉町國防婦人會では紀元二千六百年記念事業として鎭守諏訪神社境內に梅の木十數本を今二十五日幹部總出で植えつけた

豐間港鮪の山 二日間で十五萬圓

漁業界の日本記錄

秋職初めの廿二日豐間大敷網に大鮪の大群が舞込み廿三日までの二日間に約一千尾を揚げたが市場に置けず海中に浮かしゐると云ふ騷ぎ、

この鮪は何れも七十貫から八十五貫と云ふ大物、一尾の代價が二百二、三十圓から百九十圓の高値で二日間の總水揚高はザツと十五萬圓、この大漁に地元豐間町はお祭騷ぎで廿四日は三百尾の入網に網が破れて取逃した始末、なほ大群は近海を游泳してゐるため今後の水揚げは各方面より羨望されてゐる、即ち二日間の水揚げ十五萬圓は日本漁業界の新記錄を遙にブレイクしてゐる

平市の入兵營送別會

今日兩縣社大前に報告祭の後

市公會堂に一千名の出席

平市では鄉軍聯合分會と軍友會の合同主催を以つて本年度入營兵の送別會を今二十五日午前九時縣社子鍬倉、飯野八幡兩社大前に報告祭を行つた後十時半から市公會堂に於て出席一千名に上る盛會のなかに宮城遙拜、默禱、國歌合唱終つて

青沼市長　軍人分會長代理大間理事　篠山青年團長　木澤軍友會副會長

の送辭及び野崎市會議長、山森磐中校長、大輪喜代三氏の祝辭に對し入營兵總代天野浩一君の答辭あり萬歲三唱、簡素な開宴をなして正午散會

需要期の木炭不足 心配は要らない

今月も來月も大量集荷

平署の經濟係では需要期を控いての木炭飢饉の慘めさを見ぬやう生產販賣關係の間に斡旋をつとめ平市及び小名濱、江名、湯本町等に對する大量集荷の見透しがついて今十一月中に各戶の台所に不自由なき大量の現物集荷あることになつたが來る十二月には增量可能の確算が立つてゐるので一般の不安を一掃し得たと語つてゐる

江名收入役決る

欠員中であつた江名町收入役は同町上神白伊藤昇氏が內定

平米穀商業組合で 共精共販所を設置

地區內配給を圓滑にする

平米穀商業組合では共精共販設置と實績調查について今二十五日午後一時から平署會議室に役員會を開いた結果左記の案を得たので明二十六日午後一時より市公會堂日本間に總會を開催、平市ほか十三ケ町村地區の配給を圓滑にすることになつた

▲共同精米八ケ所▲現在の臨時配給所を本配給として十三ケ所

創刊を祝す

高い氣品を失はず 正しき理念の『指導者』たれ

縣農工銀行若松支店長 菅保平氏

國策の協力下に新發足を見た磐城每日新聞は濱通り唯一の新聞となつた譯である從て本紙に對する地方の關心と期待とは蓋し大なるものがあると思ふのである、新聞の使命と其の職責に就ては今更ら贅言を要しないが社會の公器として殊に時局下負ふ其の使命は一層重大なるものがあると思ふのである、報導の確、正しき理念の指導、充實したる記事等素より必要ではあるが新聞自体の高い氣品の匂も欲しい樣な氣もする、事業中の最も難事業とさるゝ新聞の經營も理事者の最も苦心する處なるべきも其の職域奉公に最善を盡されんことを祈願して止まない次第である新發足直後の本紙は設備其の他に於て未だ完備の域に達して居らないであらうが脈々とした生氣と時局下飽くまでも其の使命達成に努力せんとする男々しき熱意とが紙面に現はれ居ることは誠に慶祝に堪えない次第である、是非この生氣と熱意とを一層擴大強化して特色ある地方新聞として順調なる發展を祈つて止まない次第である、

泉驛構內踏切 移轉工事

來月中に竣功

縣道小名濱、平潟線の常磐線泉驛構內踏切は列車の入替繁しく自動車その他の交通に支障多いため構內南方百米に移轉を計畫したが潰地關係から延びてゐた同工事は工費七千五百圓で此の程愈よ着工、來十二月一杯に竣功の筈であるこれが出來れば貨車入替區域外の踏切となるので交通事故防止上喜ばれてゐる

猖獗を極めた 小名の傳染病

機宜の處置で好成績

今夏以來小名濱町の傳染病猖獗を極め停離病舍へ四十九名一時に收容するなど憂慮する事態にあつたがこれから豫防に萬全を期した結果、現在收容中のもの僅かに五名に止まり其の間一名の死亡者を出したのみで殆んど全部快癒して退院するの好成績を收めてゐる

右の如く收容者の割合に死亡者の尠なかつたのは、疑似患者を逸早く收容病勢の進行を防ぎ、一面傳染系統を斷切つた當局の苦心と各家庭の協力に依るものである

怨めしい 柿の豐作

樹の上で過熟

石城大野村と双南大久村方部の果樹收入は柿と梨とで十數萬圓になつて居り今年は柿の豐作に喜んだが釘の不足で箱詰めが出來ず其のため賣却に行まづまつて樹上に過熟し生產者は寧ろ豐作を怨む仕末となつてゐるが最近では相場の下落が甚だしく昨年大小混み二圓五、六十錢したものが一圓四、五十錢となつた

日素工場の 技師長異動

杉原氏今日本社へ

小名濱町日本水素工場建設の恩人杉原精技師長は東京本社詰に榮轉する事は屢報の如く今二十五日午前十一時泉驛發列車で出發したが本町有志の見送人で曾て見ぬ盛大な情景であつた

杉原技師長は昭和十二年日素工場建設の議纏ると共に來町し土地の交涉、建設事務一切を映掌し町民を良く親み、難關視された問題も談笑裡に解決し今日の化學の殿堂を築き上げての榮轉で町民よりはいたく惜まれてゐる

天氣豫報

今晚　北の風晴れ

明日　北西の風一時曇り

舊十月二十七日　火曜　癸酉　赤口　開　觜宿　新十一月廿六日

▲一白　身ひいきの行ひあれば折角の吉日も凶に變ず▲二黑　元氣を發ひ遲くとも健全にたゆまざるに吉し▲三碧　難關前に橫はる越ゆるの勇氣をこして立べし▲四綠　卅圖半ばにして外邪に妨たげられ易し注意▲五黃　心を虛ふし能く人言を容れて太和なれば吉▲六白　午前のとゞこほりは午後に至りて自ら通達すべし▲七赤　勞少くしてかう多き日旅行企業入學何れも吉▲八白　盛運の日增築又は事業擴には無二の好期▲九紫　大事な所までこぎ付けて從力の足らざる日

急募

一、新聞記者見習　若干名

二十才前後の意志强固なる青年

一、營業部員　若干名

年齡十八才より三十才まで

一、給仕　若干名

高等小學校卒業程度の十四五才の少年

磐城每日新聞社

移轉豫告

弊院儀本月末より本町古港（前津村屋跡）に移轉引續き開業する事になりました、設備も萬全を期しました、豫めた知らせ申上ます

十一月

小名濱町

野村外科

警視廳經濟警察官增員及び其の他要員

2000名募集

資格　滿二十歲以上三十五歲の男子（身長五尺以上）

試驗　簡單ナル作文、國語、算術並ニ人物考查 但シ甲種中等學校以上卒業者、判任文官有資格者、陸海軍下士以上、下士適任證書所有者ハ筆記試驗免除ニ付當日證書持參ノ事、

待遇　判任官待遇、教習中手當支給、卒業後初任月收六十二圓以上、被服官給、軍隊トノ恩給通算、

試驗期日及ビ場所

十一月二十七日　平警察署

十一月二十八日　郡山警察署

十一月二十九日　若松警察署

受驗手續試驗當日　志願書、履歷書、寫眞携帶出頭ノ事

◎尙詳細ハ當練習所、最寄警察署、市町村役場、職業紹介所ニ照會ノ事

東京市芝區田村町六丁目八番地

警視廳警察練習所

平病院

（平市元共濟病院跡）（電話六四一番）

院主 院長 醫學博士 鈴木定藏

內科 小兒科　院長 鈴木定藏

一般內臟 外科　副院長 高橋俊幸

皮膚泌尿科 レントゲン 物理的療法科　副院長 鈴木定藏

藥劑科　部長 吉本孝平

診療時間　每日午前八時より午後[illegible]時まで 夜間診療に從事（急患は此の限りにあらず）

附屬產院 新設

姙產婦入院隨意

產科 婦人科

木村病院

平市新川町 電話一六四番